

中毒 110 番 市民向け啓発教材「みんなで防ごう！ 身近な中毒事故」  
 対応編の要点

## PART 4 対応編：中毒事故が起こったら 中毒110番：応急処置の基礎知識

**応急手当：意識があり、呼吸も脈拍も異常がない場合に行います**  
 （意識がない、けいれんを起こしているなど、既に重篤な症状がある場合は、直ちに救急車を呼びます）

### 1. 食べた場合・飲んだ場合

・家庭で吐かせることは勧められていない

（吐いたものが気管に入ってしまうことがあり、大変危険！）

●絶対に吐かせてはいけないもの●

|   |
|---|
| 石油製品（灯油、マニキュア、除光液、液体の殺虫剤など）<br>→ 気管に入ると肺炎を起こす |
|---|

|   |
|---|
| 容器に「酸性」または「アルカリ性」と書かれている製品（漂白剤、<br>トイレ用洗剤、排水パイプ用洗剤、換気扇用洗剤など）<br>→ 食道から胃にかけての損傷をよりひどくしてしまう |
|---|

|   |
|---|
| 防虫剤の樟脳（しょうのう）、なめくじ駆除剤など<br>→ けいれんを起こす可能性がある |
|---|

・牛乳または水を飲ませて薄める（効果は牛乳のほうが高い）  
 口の中、食道、胃の粘膜に刺激があり、炎症を起こすものを飲んでしまった場合、化学製品を薄めて、粘膜への刺激をやわらげる

●飲ませたほうがよいもの●

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・容器に「酸性」または「アルカリ性」と書かれている製品（漂白剤、<br/>                     トイレ用洗剤、排水パイプ用洗剤、換気扇用洗剤など）</li> <li>・界面活性剤を含んでいる製品（洗濯用洗剤、シャンプー、石けん、<br/>                     台所洗剤など）</li> <li>・石灰乾燥剤、除湿剤など</li> </ul> |
|---|

●飲ませると症状が悪化する可能性があるもの●

|  |             |
|--|-------------|
| 防虫剤（樟脳（しょうのう）、ナフタリン、パラジクロルベンゼン）<br>→ 牛乳に含まれる脂肪に溶けて、体内に吸収されやすくなる                            | 牛乳 ×        |
| タバコ、タバコの吸殻<br>→ ニコチンが水分に溶けて、体内に吸収されやすくなる   | 牛乳 ×<br>水 × |
| 石油製品（灯油、マニキュア、除光液、液体の殺虫剤など）<br>→ 吐きやすくなり、吐いたものが気管に入ると肺炎を起こす、<br>牛乳に含まれる脂肪に溶けて、体内に吸収されやすくなる | 牛乳 ×<br>水 × |

中毒 110 番 市民向け啓発教材「みんなで防ごう！ 身近な中毒事故」  
対応編の要点

2. 吸い込んだ場合

きれいな空気のある場所に移動する

3. 眼に入った場合

こすらない、  
すぐに流水で10分以上洗う

勢いよくかからないよう、やかんなどでゆっくり注ぐようにするのが安全

4. 皮膚についた場合

すぐに大量の流水で洗う



- ・いずれの場合も、手当をおこなっても症状がある時は、直ちに医療機関を受診する
- ・受診の必要性や応急手当がわからない時には、日本中毒情報センター 中毒110番に相談する